

# 市長と語ろう！ふるさと郡上の未来

～懇談会テーマ「公共施設等の適正管理について」～

市民のみなさんから市長が直接、市政に対するご意見やご提言を伺い市政の運営に生かす「市長と語ろう！ふれあい懇談会」を市内7地域で開催しました。

各地域での意見交換の一部を要約して紹介します。なお、大和、高鷲、明宝地域は3月号で紹介します。

## 白鳥地域（10月7日）

【白鳥地域の体育施設について】

◆市民：白鳥地域は野球場や運動公園が整備されているが、白鳥体育館および格技場については、老朽化しているとともに耐震化されていない。白鳥第2体育館などと集約化し新たな施設を建設してはどうか。

◎市長：白鳥地域の体育施設として、白鳥体育館・格技場・白鳥第2体育館がある。これらをどうしていくかということであるが、公共施設等総合管理計画を策定していく段階において検討したい。第一に耐震性の無い建物について、どのように対応していくかを検討しなければならぬと考えている。

【学校の空き教室の活用について】

◆市民：現在、小中学校の児童生徒数が大幅に減少してきている。学校の統廃合は難しいと考

えるが、学校の空き教室について、老人用のサロンや幼稚園に活用することはできないか。

◎市長：小中学校の校舎・体育館については全て耐震化が完了している。学校施設については、かつて児童生徒数の多い時代にかつての人数に対応できるように、その時の人数に対応できるように教室などが設けられている。学校教育との関係もあり課題もあると思われるが、施設が遊休化しないよう活用について検討したい。

【白鳥文化ホールについて】

◆市民：白鳥文化ホールは、元々社会福祉センターとして建設された施設である。建設から32年が経過し、老朽化しているとともに、いろいろな不具合箇所があるので、対応をお願いしたい。また、市内の文化ホールは平日の利用が少なくないと思われる。夏休みなどに大学の音楽サークルや演劇サークル等の合宿を誘致してはどうか。

◎市長：白鳥文化ホールは、新耐震基準に沿って建設された施設のため耐震性を有しており、まだ使用できる施設と考えている。施設の改善や整備を行い、

グレードアップする必要があるかと考える。大学等のサークルの合宿誘致については、市内宿泊施設等への波及効果もあると思われる。市民の学習発表会などの利用についても検討したい。

## 八幡地域（10月19日）

また、コミュニティセンターに住民票の交付事務など、市役所の支所的な機能を持たせることはできないか。

◎市長：避難所運営に関する自主防災組織については、先駆的に取り組まれているので参考とさせていたいただきたい。

市役所の支所的機能を持たせることについては、人件費などの経費の面やどれくらい利用があるかなどを検討しなければならぬと考える。

【公民館施設の活用について】

◆市民：川合公民館の行事として、月1回サロンを開催するなど高齢者のコミュニケーションの場として有意義なものとなっているとともに、多くの利用がある。地域おこし協力隊の方と一人暮らしの方を対象としたクッキング教室を開催するなど、今後も地域のよりどころとなるよう活用したいと考えている。

八幡町川合地域においては、小学校は川合小学校に統合されているが、公民館は川合公民館と八幡第2公民館とに分かれた状況となっている。小学校PTA活動との連携や公民館施設の維持管理等を考えた場合、公民館も統合してはどうか。

◎市長：公民館組織は、合併前の旧町村毎で体制が異なってい



## 【口明方コミュニティ消防センターの活用について】

◆市民：口明方コミュニティ消防センターは、公民館活動の拠点として、また高雄歌舞伎の練習の場としてなど多くの利用がある。また、避難所の指定も受けている。口明方小学校と連携した避難所運営のために自主防災組織を設立し、コミュニティセンターを主とした避難所運営を行うこととしている。必要のない施設の廃止はやむを得ないが、当該施設は、残していただきたい。



た。合併後、教育委員会が中心となり新公民館体制としての組織化を行っている。しかしながら、これまでのやり方というものが、これまでも画一的にすることが良いとは言えず、各地域の主体的な運営を認めている状況となっている。川合地区の2つの公民館を1つにするということについては、地域の合意形成が得られれば良いと考えるので、各公民館において協議していただきたい。

### 美並地域 (11月4日)



【橋梁やトンネルの維持について】  
 ◻市民：道路施設において最も重要なものは、トンネルや橋梁だと思ふ。災害時において、橋梁の落下やトンネルの崩落は、地域の孤立化や物流の面においても影響があると考える。現在市にはどのくらい橋梁やトンネ

ルがあり、点検などをどのように行っているのか。

◻市長：市が管理しているトンネルは5箇所である。その多くが比較的新しく維持管理上大きな心配はないものと考えている。また、市が管理する橋梁は898橋である。橋梁に関しては、5年をサイクルとして全ての橋梁について点検を行う計画としていく。点検結果により、緊急に補修する必要があるかなど検討しながら対応していくこととしている。

### 【放課後児童クラブの運営について】

◻市民：放課後児童クラブは、10年ほど前から始められ、学校の空き教室などを活用し運営している。女性の社会進出が増える中、児童クラブの利用者が増えているものと考えている。現在、美並地域の放課後児童クラブは、三城小学校の体育館の1室で運営しているが、夏休みなど長期の休みには利用者が増えるため、手狭となっている。子どもたちが安全に遊ぶことのできる公共施設があれば、活用させていただきたい。

◻市長：放課後児童クラブについては、近年利用者が増加している。他の地域では、夏休みの期間には、開設場所を増やして対応しているケースもある。児童

クラブの運営については、運動場や体育館、プールなど子どもたちが遊ぶための場所が必要と考えるので、利便性などを勘案し児童クラブの設置場所を検討したい。

### 【公共施設の介護施設への転用について】

◻市民：美並地域においても、高齢化が進み、今後ますます介護に関する需要が増していくと考える。現在、社会福祉協議会によるデイサービスセンターもあるが、北部コミュニティセンターや基幹集落センターを、民間事業者による高齢者の介護施設に転用することができないか。希望する事業者があつての話ではあるが、持て余している施設の活用や、地域の雇用拡大の面においてもメリットがある

◻市長：デイサービスセンターについては、高齢化が進み需要が増えるとも考えられるが、既存のサービスとの競合などによりサービス量の供給過剰となつてはいけなしいし、運営主体があつて、スタッフ等が集められるかなど、クリアすべき課題も多いと考える。美並健康福祉センターさつき苑においてデイサービスを有していただいているが、現状としては需要と供給のバラ

### 和良地域 (11月14日)



ンスがとれているようである。

### 【公共施設の削減について】

◻市民：和良町は、面積では市の約10%を占めているが、人口については4%ほどしかない地域である。人口密度が低いため、公共施設の1人あたりに占める延床面積が大きくなつている。市の中心部から離れた地域では、利用率が低いことを理由に施設が閉鎖される可能性が高くなるのではないかと。市民としては、公共施設の見直しについて協力・努力をしていくが、人口や数値のみを判断基準とせず、地域のことを第一に考えていただきたい。

◻市長：郡上市は大変広い市域を有しており、かつ人々が散らばって生活しているため、市の人口1人あたりの床面積を等し

くするような方法で公共施設の縮減を進めるということは、乱暴な考え方であると思う。各地域の人たちが、どのように生活しておられるのかをしっかりと考慮する必要がある。地域全体として、大きな拠点施設も小さな拠点施設もそれぞれ必要なので、各施設を道路などのネットワークで繋いでいくことも検討しなければならぬ。今後も、1人あたりが占める床面積の数値のみで機械的に考えていくことは避けながら進めていきたい。

### 【市営住宅について】

◻市民：和良の市営住宅は空き家が多いと聞いた。有効に活用されなければ価値や施設の必要性が低下し、維持していくことが困難になるのではないかと。家賃を安くするなどして利用者を増やすことができないか。

◻市長：市営住宅については、公営住宅法に基づいて建てられたものであり、所得要件や家賃の決定方法等が定められている。しかしながら、これらの法令自体も古くなっており、制度と実態が合わなくなっている部分もあるかと考えられる。裁量のきく住宅に位置づけしなおすことや、地域おこし団体に貸与し弾力的な運用をしていただくなどの方法を検討したい。